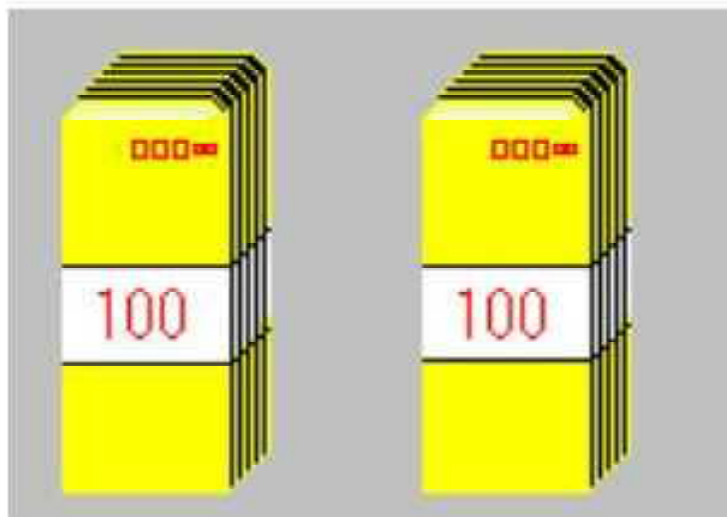


200という数

100を 2つ あつめた ^{かず}数は, 200です。
100を 2つ あつめた ^{かず}数は,
200と かき, 二百(にひゃく)と よみます。



ふうとうは
200まい だね

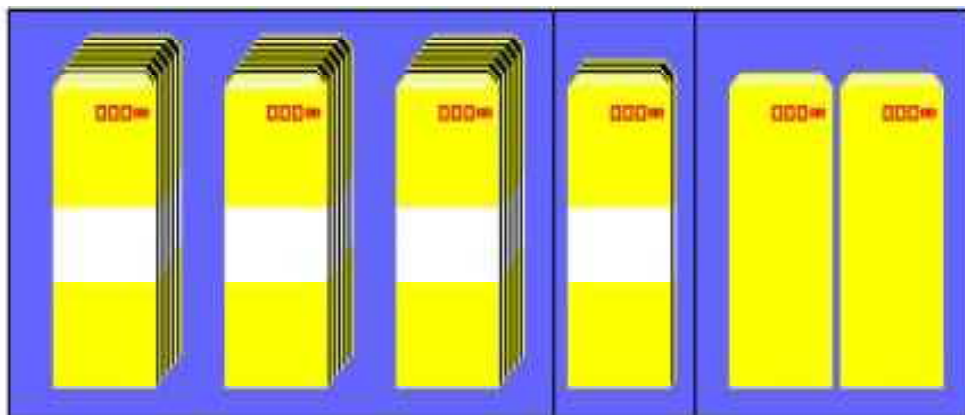


312という数

三百

十

二



3 1 2 は,

1 0 0 を 3 つ

1 0 を 1 つ

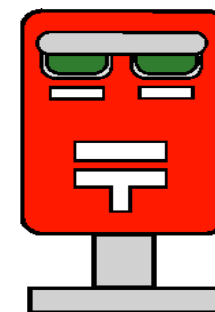
1 を 2 つ

あわせた ^{かず} 数です。

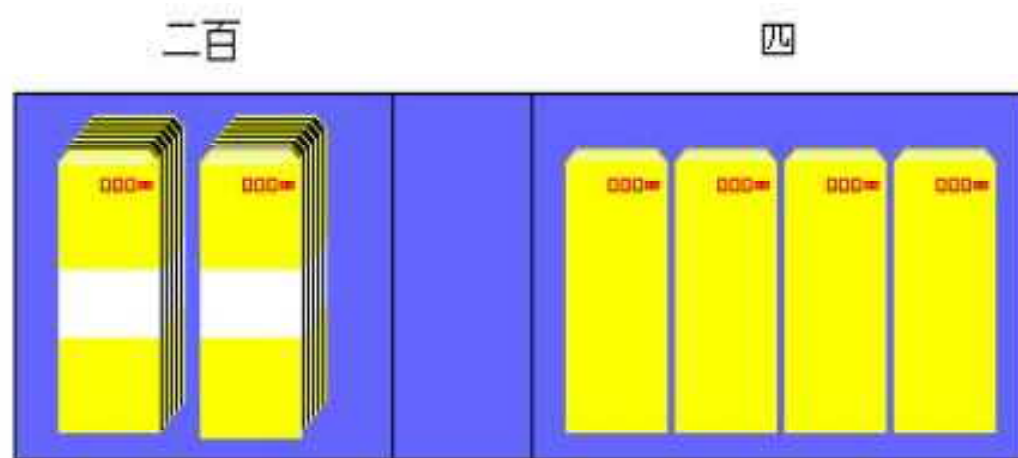
ふうとうの ^{かず} 数は

3	1	2
百の くらい	十の くらい	一の くらい

まいです。



204という数



204は、
100を 2つ
1を 4つ
あわせた ^{かず}数です。

ふうとうの ^{かず}数は

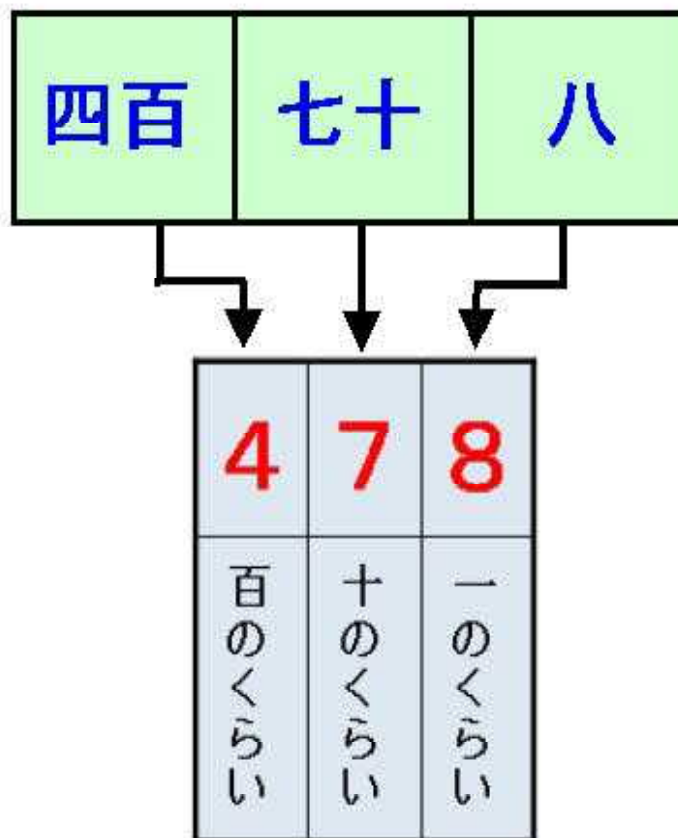
2	0	4
百の くらい	十の くらい	一の くらい

まいです。



四百七十八という数

四百七十八を ^{すうじ}数字で あらわしてみましょう。

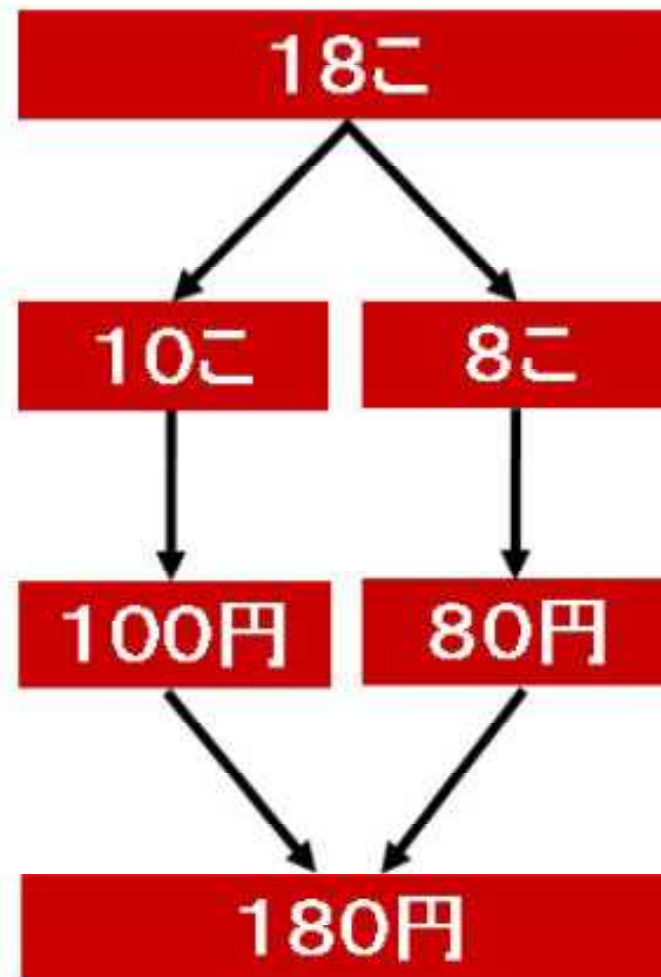
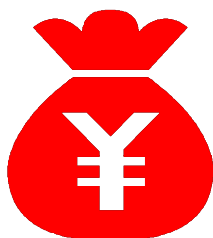


10円玉18こぶんの金かく

まず、18この 10円玉を
10こと 8ことに^わ分けます。

つぎに、10円玉 10こで
100円、8こで80円と
かんがえます。

さいごに、100円と 80円
とをあわせると、180円と
なります。

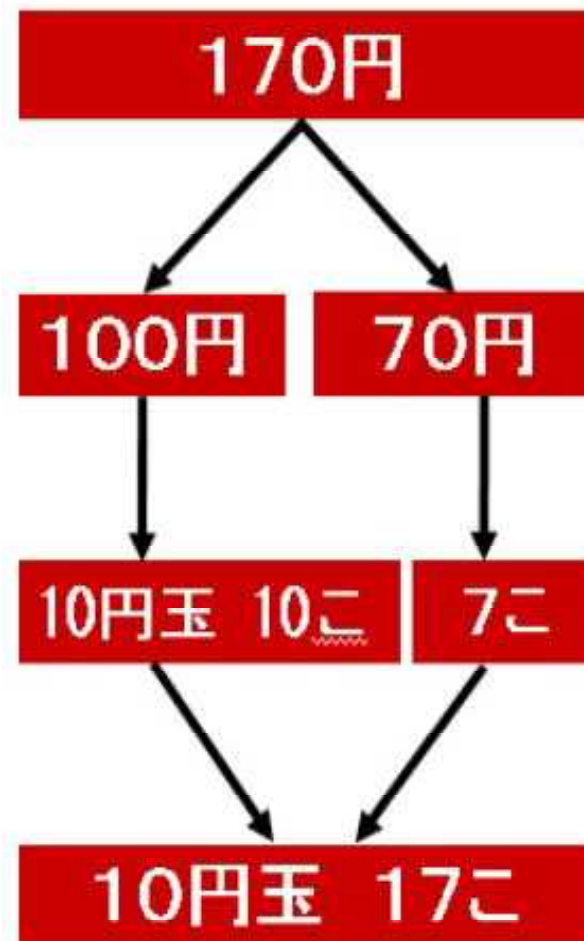
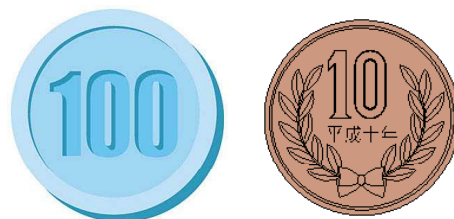


170円は10円玉がなんこか

まず，170円を 100円と
70円とに分けます。

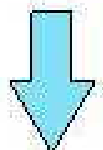
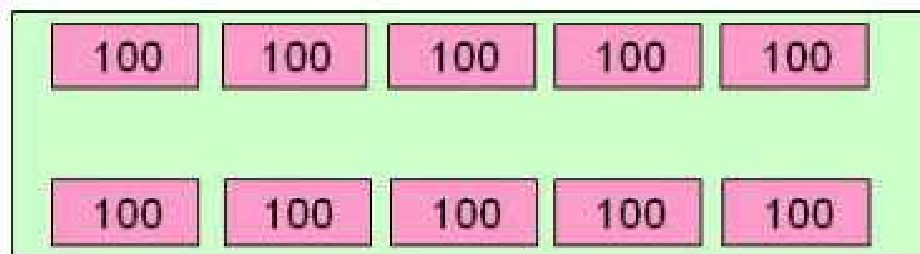
つぎに，100円は10円玉が
10ことかんがえます。

さいごに，その 10こと
70円の7ことをあわせると，
17ことなります。



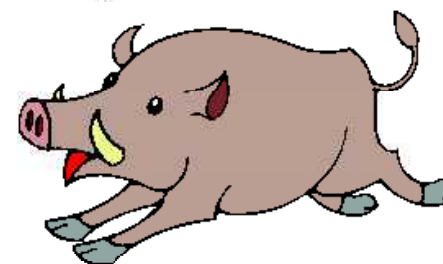
1000という数

100を 10こ あつめた数^{かず}は、1000とかき、千(せん)とよみます。

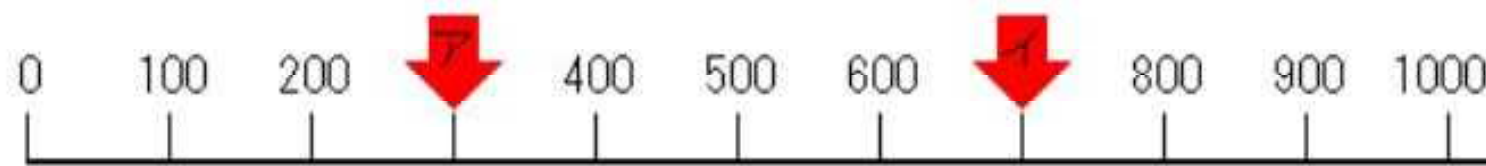


1000

一、十、百の
つぎは 千だよ。



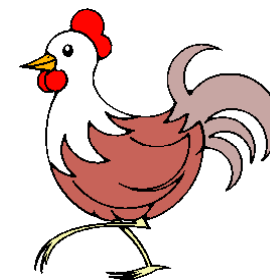
数の直線のよみかた (1)



まず、数の直線の 1めもりは いくつなのかを かんがえます。

上の 数の 直線では、1めもりは
100を あらわして います。

よって、 に あたる 数は 300,
 に あたる 数は 700です。



数の直線のよみかた (2)



上の数の直線では、1めもりは **1** をあらわしています。

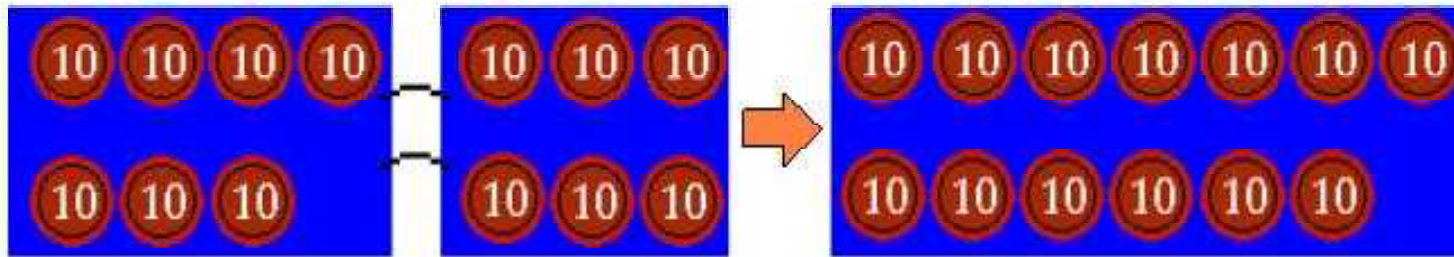
よって、**ア** にあたる数は 9 9 3,

イ にあたる数は 9 9 9 です。



70 + 60の計算

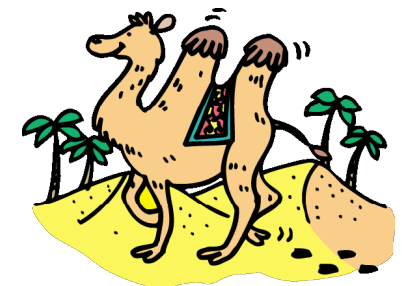
70 + 60 の ^{けいさん}計算を 10 を もとにして かんがえて みます。



10が 7こ 10が 6こ あわせて 10が 13こ

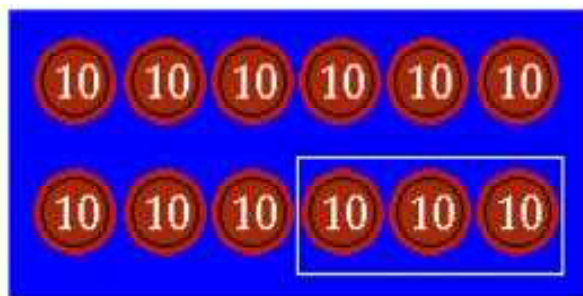
$$\underline{70} + \underline{60} = \underline{130}$$

$7 + 6 = 13$

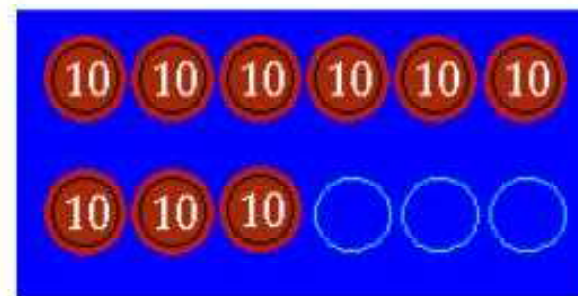
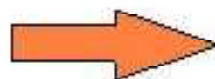


120 - 30の 計算

120 - 30の ^{けいさん}計算を、たし算と ^{ざん}おなじように、10を
もとに して かんがえて みます。



30を とる



10が 12

10が 9こ のこる

$$\underline{120} - \underline{30} = \underline{90}$$

$7 + 6 = 13$

